

各地域で道産木材を採用した教材を製作して、そのまとめの授業として地域の森林・林業について学ぶモデル授業を実施しました。グループの教育関係、木材関係、行政関係も授業参観していただき、効果を検証すると共に、他校の授業の参考にさせていただきました。

Sapporo ★ **札幌市立澄川中学校**



澄川中学校では、「北海道の森林と木材について」と題し、モデル授業を実施しました。約200人が折り畳みいすを製作、まとめの授業に入った一番最初のクラスで公開授業を実施し、あとのクラスについては、同様の内容の授業を先生に実施してもらうことしました。生徒にとっては森林や林業については馴染みの無い内容であること、外部の講師が話すことなど興味を持って話に聞き入っていました。

08

Sapporo ★ **札幌市立北白石中学校**



北白石中学校では、エネルギーと環境問題を含めた授業を実施し、その中で地域の森林や木材が環境に負荷を与えない、地球に優しい資源であることを学びました。木材産業は地域産業の振興の側面からの学習や、森林は自然環境や地球温暖化防止の側面からの学習ができ、ものづくりだけに留まらず、幅広いテーマで学習することが出来ます。授業では、行政関係者からの地域の森林の話題、発電の専門家からの情報提供など、生徒にとって興味を引く内容でした。

Asahikawa ★ **旭川市立六合中学校**



六合中学校では、選択授業で道産トドマツ製材を活用したベンチ作りをしました。まとめの授業において「北海道の森林と林業について」の講演を実施。北海道の担当者を講師として森林の公益的機能と林業の概要とその必要性について学びました。

Tsuruimura ★ **鶴居村立鶴居中学校**



鶴居中学校では、センを使った「プチタンス」作りを実施し、2年生を中心とした生徒が熱心に製作に取り組みました。まとめの授業では、北海道の森林・林業について学び、自分の育つ地域の森林環境がとても恵まれていることを学びました。講話を聞いて自分の意見を熱心に発言するなど、生徒の意欲が感じられる授業となりました。

09

生徒の感想(アンケートより)

- 北海道の木が使いやすく、作りやすくてとても面白かった。
- 森林の大切さがわかっておもしろかった。
- 森林や林業の話はすでに知っている内容で、つまらなかった。
- 森林や林業の話は難しかった。
- 森林や林業の話は自分達の未来につながる重要な話だが、一方の面だけから見てはいけないと思う。
- 講演を聴いて、僕達が無気なく使っている木もたくさん人の手によって何十年もかけて育てられた木だとわかった。
- 失敗もしたけど、作ることも、作りながらの話し合いも面白かったし、楽しかった。
- 身近な木のことを知れたので、面白かった。